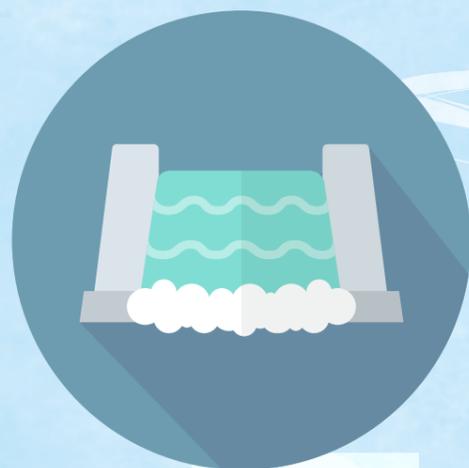


九州地域における

J-クレジット創出・活用事例集

～クレジットと資金の地域循環を目指して～



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。



経済産業省
九州経済産業局

はじめに

地球温暖化対策は世界全体で取り組むことが必要な重要な課題であり、わが国においても、国民生活の向上・経済成長との両立を図りながら、温室効果ガス削減の取り組みを積極的に推進していくことが求められています。時機を得て、2020年10月には、政府により「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言されました。

2013年度(平成25年度)にスタートしたJ-クレジット制度は、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によるCO₂の排出削減量及び適切な森林管理によるCO₂の吸収量を、クレジットとして国が認証する制度で、認証されたクレジットは売買することができるため、地球温暖化対策のみならず、クレジットを媒介とした資金・技術の還流や地域における連携体制の構築等により、事業者の投資促進や地域活性化につながるものと期待されています。

2016年5月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」においても、J-クレジット制度は「分野横断的な施策」として、制度を着実に推進していくことが求められています。

九州経済産業局では、2015年に、「九州地域におけるJ-クレジット制度活用事例集」を作成し情報提供させていただきましたが、このたび、より新しい事例を紹介し皆様に参考にさせていただくことを目的に、クレジット創出事例やクレジットの活用を行った事例を掲載した「九州地域におけるJ-クレジット創出・活用事例集～J-クレジットと資金の地域循環を目指して～」をとりまとめました。

本冊子が、九州地域の中小企業や地方自治体、市民の皆様のJ-クレジット制度への理解の深化や制度の活用促進に資するとともに、ひいては脱炭素社会実現に向けた取組への一助となれば幸いです。

2021年2月
九州経済産業局

Contents

J-クレジット制度とは？	1
● J-クレジット制度の概要	● クレジット認証・発行までのプロセス
● プロジェクトの分類	● クレジット活用の一例(カーボン・オフセット)

事例集	4
-----	---

地域循環モデル 5~12

- 福岡県みやま市におけるJ-クレジットを活用した地域循環モデル
～地域の未利用バイオマス資源から創出されるJ-クレジットを活用して～(福岡県みやま市)
- 長崎県における“ながさき太陽光倶楽部”を核とした循環モデル
～県民と県と地場企業のコラボレーションによる地域活性化、地域貢献を目指す～(長崎県)
- リサイクル率日本一の大崎町と連携した地域循環のまちづくり
～地域循環共生圏の構築を目指して～(㈱そおりサイクルセンター)
- 省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業との連携による地域循環モデルの構築
～J-クレジット制度を活用した“さらなる一歩”を目指して～(㈱エネルギーマネジメント協会)

クレジット創出 13~19

- JAからつの高効率ヒートポンプ空調設備導入によるCO₂排出削減プロジェクト
～からつエコ・ハウス倶楽部～(運営・管理者:唐津農業協同組合)
- 大分県における住宅への太陽光発電システムの導入によるCO₂排出削減事業
～おおい太陽光倶楽部～(運営・管理者:大分県)
- 宗像終末処理場における消化ガス発電導入プロジェクト
～世界遺産のまち宗像市“下水道の魅せる化”を目指して～(宗像市)
- 大分県玖珠郡における地熱利用型熱交換システム導入プロジェクト
～地域資源である“温泉熱”を活用した環境配慮型の農業を目指して～(㈱タカヒコアグロビジネス)
- 浄水場への太陽光発電の導入
～太陽光発電システム導入によるCO₂排出削減プロジェクト～(直方市水道事業)
- ㈱ヒガシマル鹿児島工場における乾燥設備の更新プロジェクト
～事業活動のエコ化による新たな継続的収入が魅力～(㈱ヒガシマル)
- 照明、乾燥機、ボイラーの更新で国のJ-クレジット制度を活用
～自社の取り組みが国に認められたことが社会貢献の証～(日之出紙器工業㈱)

クレジット活用 20~27

- 教育現場におけるJ-クレジット制度&カーボン・オフセットの活用
～学生の学びの手段として、社会への発信の手段として～(学校法人榎園学園 鹿児島環境・情報専門学校)
- カーボン・オフセットで“長崎の森”を守ります!
～私たちは、子どもたちにどれだけ自然を残せるだろう…という思いから～(ヤベホーム㈱)
- 西日本最大の環境展「エコテクノ」のカーボン・オフセット
～環境都市“北九州市”のシンボリック環境イベントの責務として～(公財)北九州観光コンベンション協会)
- 関係者と一体になって取り組むJ-クレジットを活用した森林整備支援モデル
～令和2年7月豪雨の被害を受けた熊本県小国町の森林整備にクレジット売却益を活用～(ミリーヴ㈱)
- どんぐりポイント制度によるクレジットの活用プロジェクト
～J-クレジットの創出と活用による地球温暖化対策への貢献～(㈱宮崎竹田青果)
- 熊本県の森林吸収系クレジットによるカーボン・オフセットの取り組み
～熊本の将来世代へ健全な森林を引き継ぐために～(㈱エバーフィールド)
- 協同組合主導による差別化を狙った工事に係るカーボン・オフセットの取り組み
～組合員の結束と新たな事業の確保を目指して～(鹿児島県防水工事業協同組合)
- 顧客ニーズに合わせたクレジットによる排出係数の調整
～新電力他社との差別化及び顧客満足度の向上を目指して～(㈱グローバルエンジニアリング)

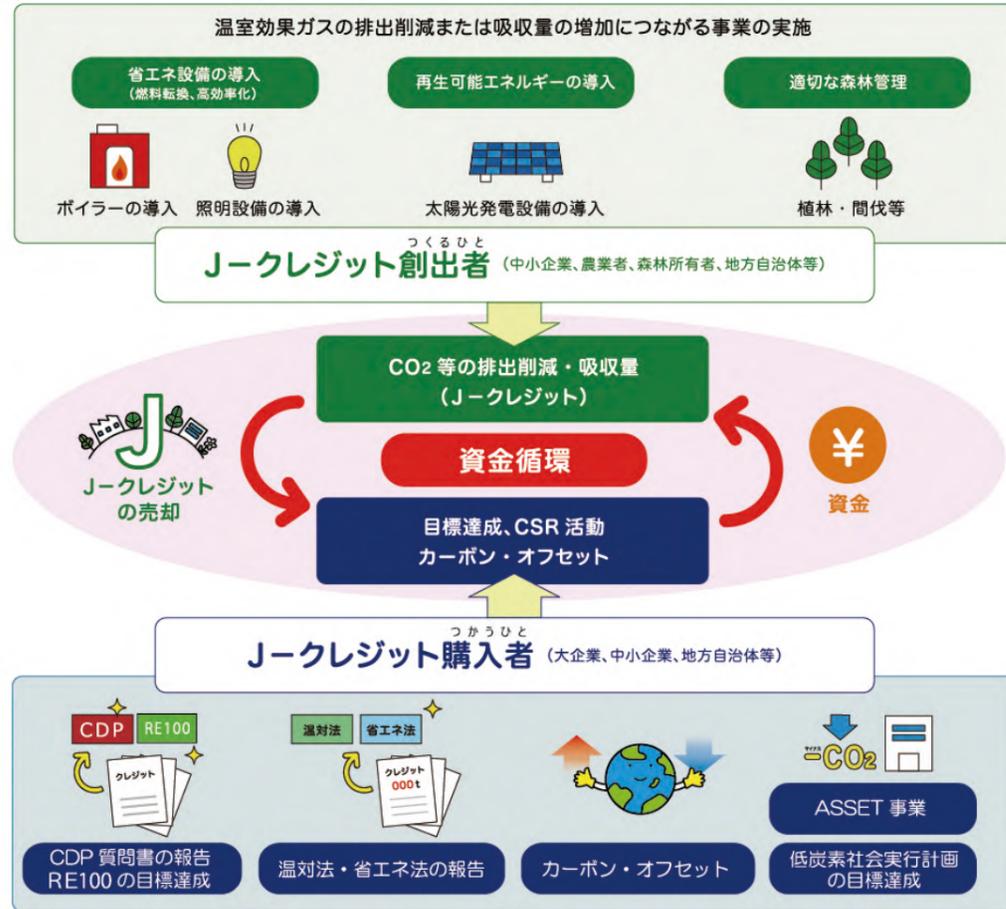
参考	28
----	----

- J-クレジット制度に関するQ&A
- J-クレジット制度活用に係る申請手続き支援

J-クレジット制度とは？

J-クレジット制度の概要

J-クレジット制度は、省エネルギー設備(省エネ設備)、再生可能エネルギー(再エネ)の導入や森林経営等の取り組みによるCO2など温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度であり、経済産業省、環境省、農林水産省の3省で運営しています。



メリットは？

クレジット創出者

- ランニングコストの削減
- クレジットの売却益
- 地球温暖化対策への取り組みに対するPR効果
- 新たなネットワークの構築
- 組織内の意識改革・社内教育

クレジット活用者

- 環境貢献企業としてのPR効果
- 企業評価の向上
- 製品・サービスの差別化
- ビジネス機会獲得・ネットワーク構築

このような
メリットが
あります。

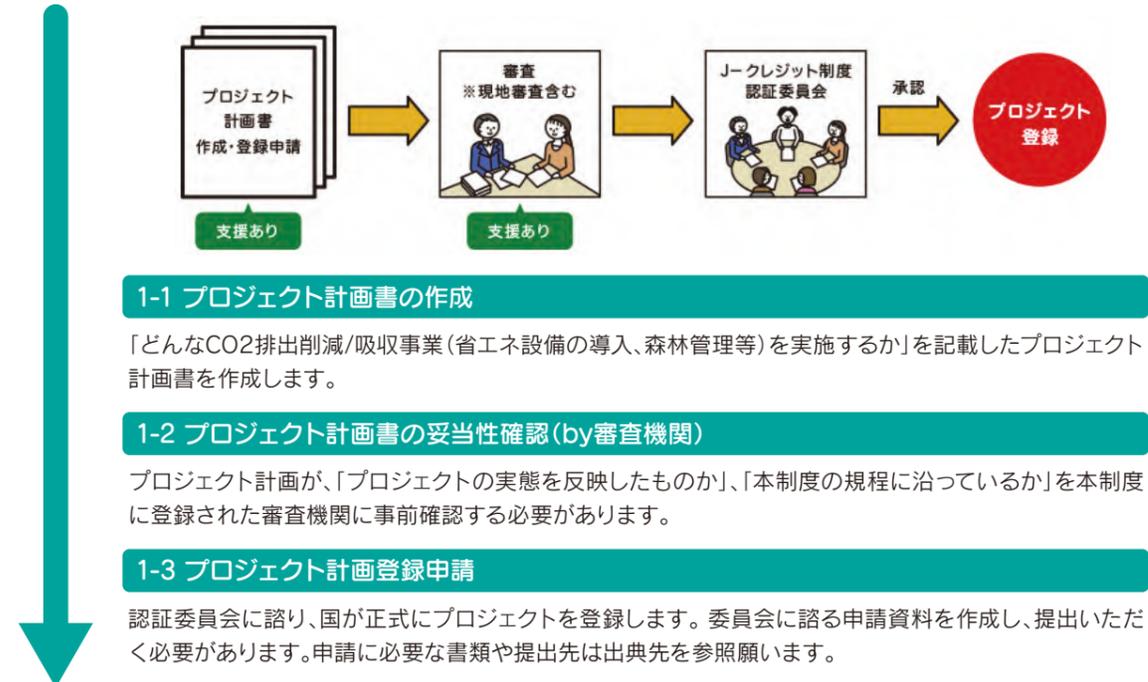


※J-クレジット制度の詳細は <https://japancredit.go.jp/> を参照

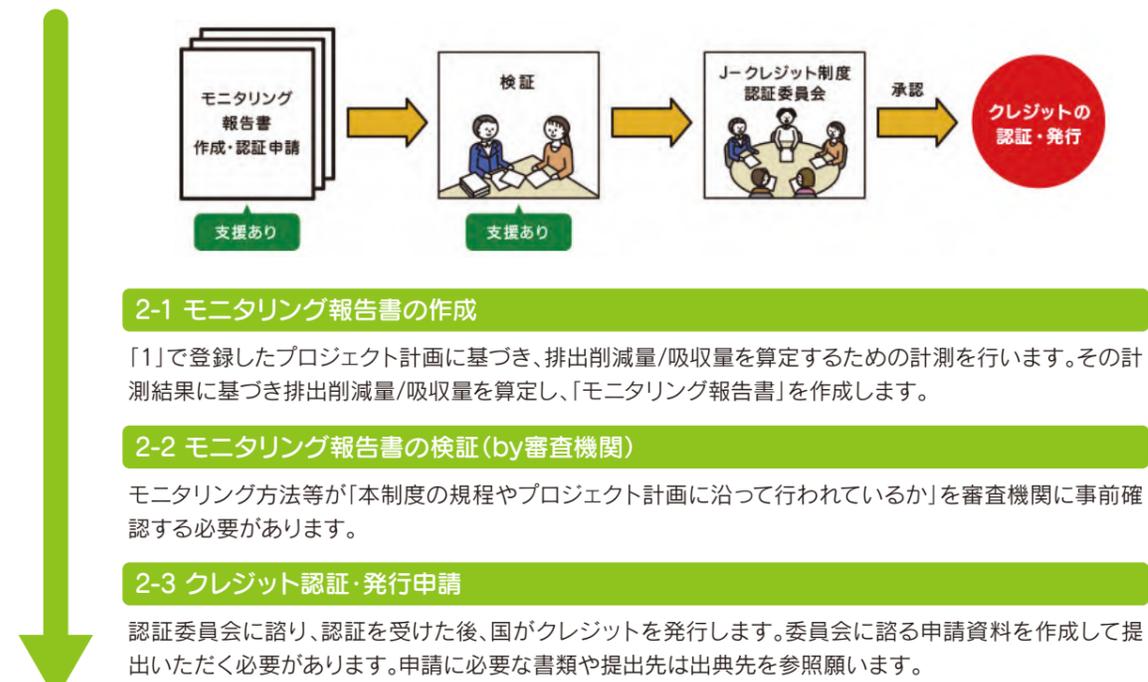
クレジット認証・発行までのプロセス

クレジット認証・発行までのプロセスは「プロジェクトの登録」と「モニタリング(削減量や吸収量を算定するための計測等)」の2つのステップがあります。

① プロジェクトを登録する



② モニタリングを実施する



③ クレジット認証・発行

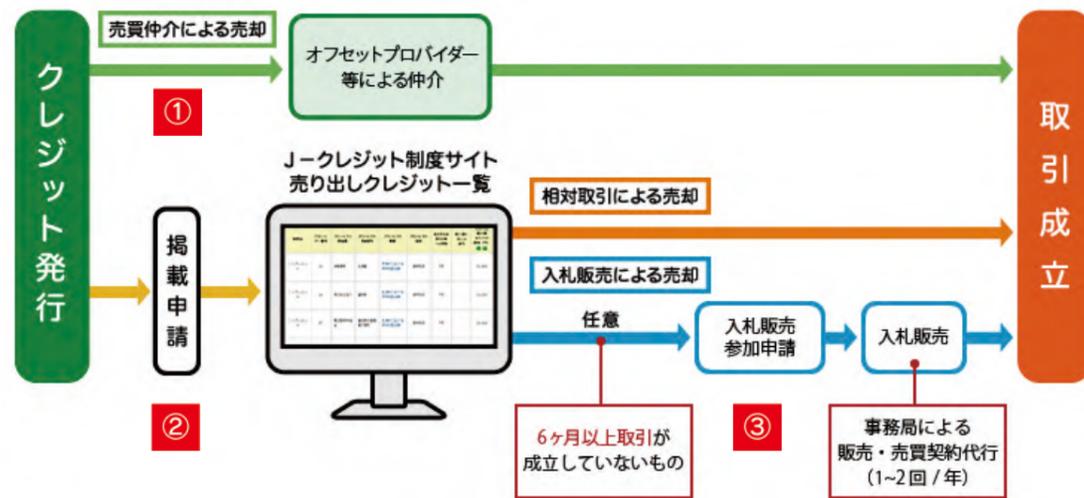
出典: <https://japancredit.go.jp/application/>

J-クレジット制度とは？

クレジットの売買

国は、クレジットの売買を促進するために、J-クレジット制度のHPでマッチングサイトを立ち上げています。ここでは、以下の3つの売買方法について掲載しています。

- ① J-クレジット・プロバイダー等の仲介による売買
- ② 「売り出しクレジット一覧」を活用した売買（相対取引）
- ③ J-クレジット制度事務局が実施する入札への参加による売買

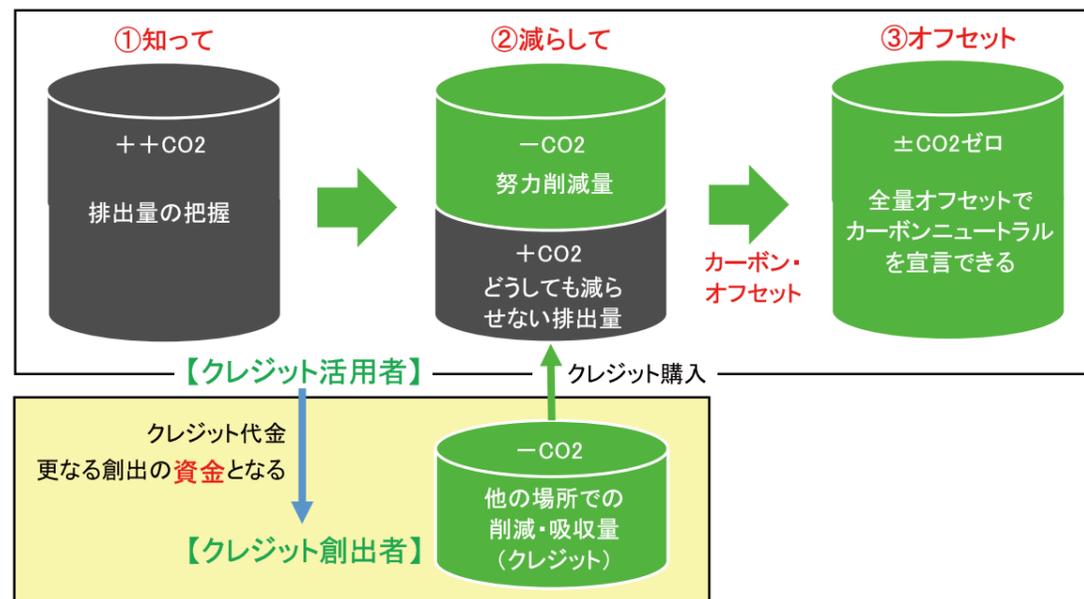


出典：<https://japancredit.go.jp/market/sell/>

クレジット活用の一例(カーボン・オフセット)

「知って」「減らして」「オフセット」の3つのステップがカーボン・オフセットの基本です。

- ① 日常生活や経済活動において排出するCO₂等の温室効果ガスの量を認識し(知って)
- ② 主体的にこれを削減する努力を行い(減らして)
- ③ 削減が困難な排出量について、他の場所で創出したクレジットを購入することにより、その排出量の全量、または一部を埋め合わせる(オフセット)



- 地域循環モデル P5~P12
- クレジット創出 P13~P19
- クレジット活用 P20~P27

[事例集]